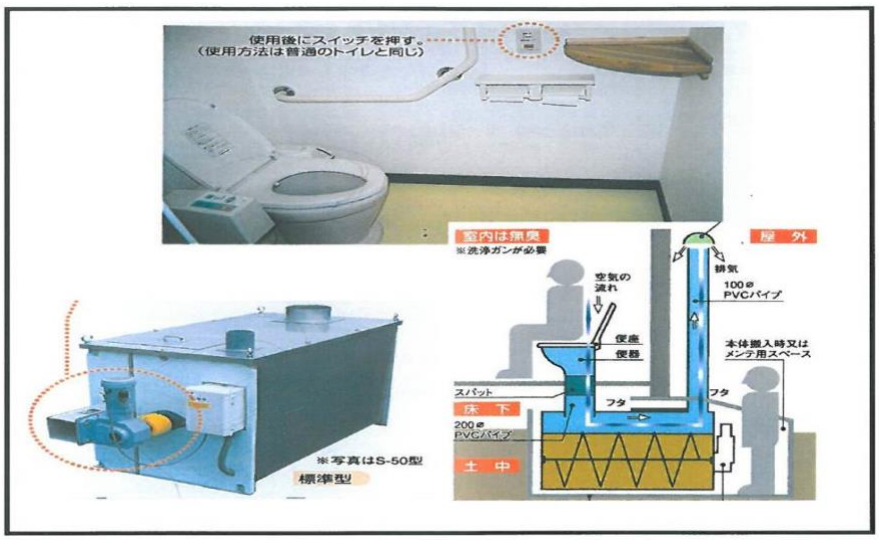
記入日　2019 年 6 月 26 日

会社・団体名	正和電工株式会社 英文名：　Seiwa-Denko Co., Ltd.			
技術・設備名	バイオトイレ“Bio-Lux”、生ゴミ処理機”Bio-Self”、 新浄化装置“Bio-Lux Water”			
分類		（1）省エネルギー	○	（5）水処理
		（2）新エネルギー		（6）土壌汚染防止・土壌改良
		（3）大気汚染対策		（7）スマートシティ
		（4）循環経済	○	（8）その他
特徴（PRポイント）	バイオトイレ“Bio-Lux”は①水を使わない、②普通のオガクズを活用する、③特別な菌は不要、④トイレ室内は無臭、⑤トイレットペーパーも消える、⑥使用後のオガクズは有機肥料として活用可能　等で、トイレ自体が汚物を処理する自己完結型のトイレです。 生ゴミ処理機”Bio-Self”は①普通のオガクズを活用し、②水は使わない、③特別な菌は不要、④使用後のオガクズは有機肥料として活用できる、⑤駆除動物の分解処理もできる　等で、バイオトイレの技術を応用した生ゴミ処理機です。 新浄化装置”Bio-Lux　Water”は①トイレ排水は混入しない、②台所、風呂場、洗濯場等の排水が備長炭の槽を通過する、③汚水の沈殿物が少ないのでメンテナンスが容易、④処理水の大腸菌対策が不要、⑤処理水は再利用が可能　等で家庭から出る雑排水をきれいに雨水状態にまできれいに浄化する装置です。（下水道が不要の住環境を提案）			
具体的な省エネ・環境効果、経済性	バイオトイレと生ゴミ処理機の使用済みのオガクズは有機肥料として活用出来ることから、循環型社会を実現させることが出来ます。 新浄化装置は　BOD(水の汚れを表す単位)7.4mg、全窒素　2.1mg、全リン 0.14mg と結果が出ていることから処理水は雨水状態まで浄化されていることがわかります。（処理水の再利用可能）			
概要・原理	・バイオトイレ本体 標準型　↓　　据え置き型　↓　　業務用↓   			

① 標準型の種類は処理能力の違いで S-15 型、25 型、50 型、75 型、100 型、150 型、300 型、600 型、2400 型 と 9 種類あります。
② 据え置き型の種類も処理能力の違いで M-08 型、W-16 型、26 型、43 型、SW-16 型、26 型、43 型 と 7 種類あります。
③ 業務用は Wm2-76TK 型、Wm2-76KB 型、Wm2-76YT 型、Wm2-55DB 型、Wm2-55KB 型、Wm2-55YT 型、Wm2-55TK 型があります。
④ 各種バイオトイレ本体を内蔵した仮設トイレも好評で、外装がログハウス仕様、サイデング仕様、鋼板仕様があります。
⑤ 女性専用の仮設トイレが好評です。(女性の目線で開発、快適トイレ仕様)

・設置例
① 下記写真のようにトイレ室内は水洗トイレと同様にできます。トイレ室内は無臭になるのが特徴です。
② 洗浄便座も使用する事が出来ます。
③ トイレ室内には使用後に押すスイッチと洗浄ガンがあります。
④ トイレ室内の便器の下にS型バイオトイレ本体を設置しています。
⑤ W 型、SW 型はポンっと置けばトイレになります。



・生ゴミ処理機の概要
① 処理能力の違いで家庭用の PBT-08 型、業務用の SN-25 型、50 型、75 型、100 型、300 型、CK-600 型と 7 種類あります。
② 月に1回オガクズの交換とメンテナンスが必要です。
③ PBT-08 型は家庭から出る生ごみの他、ペットの糞も処理できます。
④ CK-600 型はシカなどの駆除した動物を処理することを目的として開発しており、強固な造りになっています。現在、駆除した動物の処理は「埋める」か「燃やす」の二択となっており、CK-600 型を使用し駆除動物を分解処理する第三の処理方法を提案します。

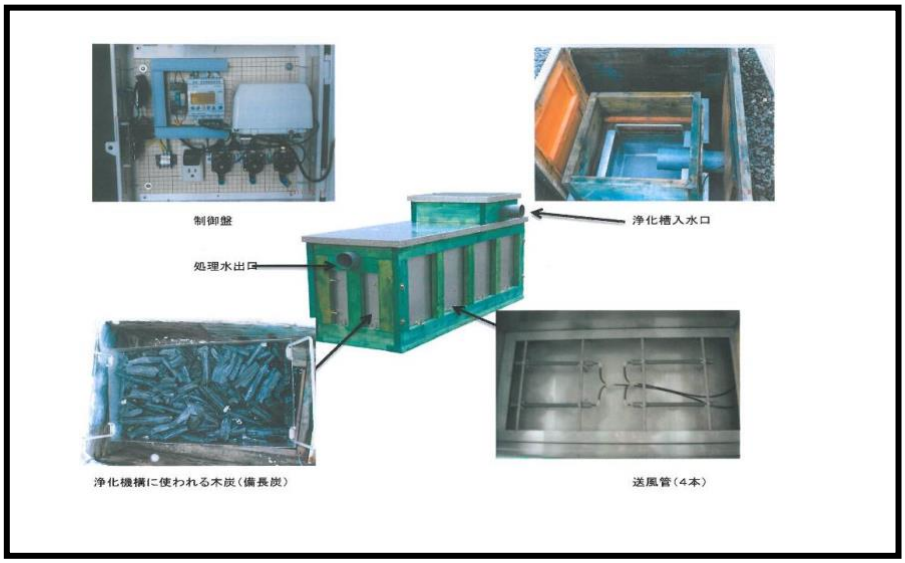




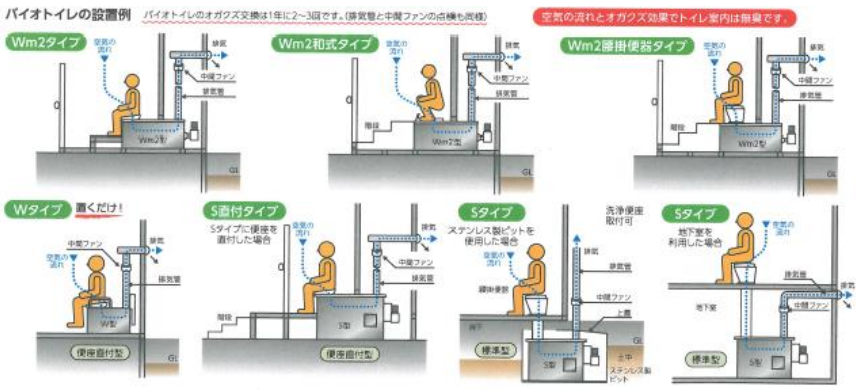
生ゴミ処理機”Bio-Self”　　PBT-08 型　　CK-600 型

・新浄化装置の概要

　生活雑排水の入口にはステンレス製のカゴがあります。台所などから洩れ出た料理残渣を捕獲し汚水は備長炭の層を通過する事で浄水されます。
（処理水に臭いは無い）



・配置イメージ図



・循環型社会の構築

① トイレはバイオトイレを設置し、し尿を分解消滅させ、糞尿に含まれていた肥料分が付着したオガクズを有機肥料として活用します。

	② 生活雑排水は新浄化装置を使い、汚水を浄化する事で、処理水は雨水状態に迄きれいになり、再利用が可能になります。 ③ 一般住宅にバイオトイレと新浄化装置を設置する事で下水道が不要な住環境が実現し、水環境改善の一助になります。 ④ メンテナンスは比較的容易なので、使用者が自ら行う事が出来ます。  ・水を汚さない。 ・汚水を出さない。
実績	北海道大学を通して中国の東北師範大学、南京大学、西安大学にバイオトイレ本体 S-50 型、S-100 型を各１台、合計2台、研究用で各大学に無償提供している。その他、フィリピン、韓国、インドネシア、カナダ、パプアニューギニア等に納品されている。国内外に出荷している台数は観光地や工事現場のトイレ、山岳トイレや一般住宅等で合計 2,300 台以上の実績があります。

日本での連絡先	担当者名：畏地伸治（取締役部長）、佐藤仁俊(技術部長)、大泉まどか TEL：0166-39-7611 FAX：0166-39-7612 E-mail：seiwa@seiwa-denko.co.jp 〒078-8271 北海道旭川市工業団地１条１丁目３番２号
Web URL	http://www.seiwa-denko.co.jp